

第29回全道研究担当者研修会

令和元年12月13日（金）に全道研究担当者研修会（以下 研担研）が、札幌市立二条小学校で行われました。今回も昨年同様、国立教育政策研究所（以下 国研）の教育課程研究指定校事業の研究授業に、本連盟の全道各地の研究担当者が一緒に参加させていただく形での開催となりました。穏やかな天気の中、10支部より25名と役員・事務局員31名を合わせた56名の参加となりました。

まずは事務局研究部より提案授業の主張について説明があった後、授業を参観し、授業検討を行って、国研の塩見 英樹教育課程調査官と横嶋 剛教育課程調査官からご助言をいただきました。

提案授業は、5年生による運動領域「ゴール型ゲーム タグラグビー」と3年生による保健領域「健康な生活」の2本の授業が公開されました。



全道研究担当者研修会全体の様子

《研究授業》

5年 運動領域「ボール運動ゴール型 タグラグビー」 本間 大介 教諭

3対2と3対3のゲームでの得点率とランによる突破回数を提示し、違いを比較するところから授業を展開させていきました。データを用いることで、根拠をもって作戦の話合いをもつことができ、繰り返しチームプレーの確認をする場を設定することで、作戦を修正しながら取り組む姿を見ることができました。また、十分に運動量を確保できる状況になっていたことから、作戦をすぐに実行することができ、作戦がうまくいくかを楽しみながら活動する姿も見られました。

3年 保健領域「健康な生活」 浅野 純子 教諭

生活時間表の一例を提示し、「運動」「食事」「休養・睡眠」の3要素が、それぞれつながって健康な生活リズムが作られていることに気付かせていきました。「自分の健康スイッチはどこかな？」という発問から、自分自身の生活時間表を見直し、自己の生活の仕方を考えたり、友達の生活に目を向けたりする姿が見られました。板書を通して「3つの要素がぐるぐる回ってつながっている」という発言があり、バランスの大切さに気付くことができていました。



5年 タグラグビー（ゲーム）



3年 健康な生活（保健）



塩見調査官（左）と横嶋調査官

お二人の教育課程調査官よりご助言をいただいた後、通常の研担研の流れに沿って支部交流を行いました。大牧 眞一事務局長より、全道大会釧路大会以降の活動報告や令和2年度の主な事業予定、今後の全道大会開催地の確認がなされた後、各支部の研究推進の説明や事務局研究部より全道大会釧路大会の大会報告や新研究主題の設定に関する報告があり、鈴木 真副委員長の挨拶で閉会となりました。

その後、引き続き懇親会を行い、情報共有するとともに交流を深めました。

※討議内容等は、機関紙 116 号にも掲載されます。

（文責：広報部 三浦 祐大）